

電動車活用社会推進協議会

第1回 商用車における電動車活用促進 WG 議事要旨

日時	令和2年9月30日(水) 10:00-12:00
場所	Skype 会議
出席者 (敬称略)	有識者 <ul style="list-style-type: none">● 大聖 泰弘：早稲田大学名誉教授● 飯田 訓正：慶應義塾大学名誉教授
自動車 メーカー	自動車メーカー <ul style="list-style-type: none">● いすゞ自動車株式会社● 本田技研工業株式会社● スズキ株式会社● ダイハツ工業株式会社● トヨタ自動車株式会社● 日産自動車株式会社● 日野自動車株式会社● 三菱自動車工業株式会社● 三菱ふそうトラック・バス株式会社● UD トラックス株式会社
ユーザー 企業等	ユーザー企業等 <ul style="list-style-type: none">● アマゾンジャパン株式会社● 環境優良車普及機構● 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会● 佐川急便株式会社● ジャパンチャージネットワーク株式会社● 株式会社セブンイレブン・ジャパン● 東京電力ホールディングス株式会社● 日本郵便株式会社● ファミリーマート株式会社● ヤマト運輸株式会社● 株式会社ローソン● JHyM 日本水素ステーションネットワーク合同会社
事務局	事務局 <ul style="list-style-type: none">● 一般社団法人次世代自動車振興センター● アーサー・ディ・リトル・ジャパン● 経済産業省
資料	資料1 議事次第 資料2 参加者リスト 資料3 WG の運営及び議事扱い等について 資料4 事務局資料①(商用車における電動車活用促進 WG について) 資料5 事務局資料②(各国電動化動向と長期的な見立て) 資料6 投影のみ) トヨタ自動車株式会社様 ご説明資料 資料7 投影のみ) 三菱自動車工業株式会社様 ご説明資料 資料8 投影のみ) ヤマト運輸株式会社様 ご説明資料 資料9 投影のみ) アマゾンジャパン株式会社様 ご説明資料

議事要旨

- ▶ 商用車の電動車普及に向けたロードマップ案の策定
 - ◇ 【自動車メーカー】今後の勉強会で具体的な議論を進めるためには 2030 年などに達成すべきマイルストーンを PT 比率含め仮にでも設定し各事業者がそれぞれの目線で共通の課題認識をすることが肝要。
 - ◇ 【自動車メーカー】車両普及と並行して、インフラや周辺産業も含めたマネジメントシステムのロードマップへの落とし込みが必要。
- ▶ 電動車導入の課題解決に向けた議論
 - ◇ 【自動車メーカー】電動車に関する事業者のニーズ（車両価格、一充電（充填）走行距離、積載効率、充電（充填）速度など）と OEM が作りうる製品のギャップを埋める議論が必要。
 - ◇ 【自動車メーカー】特にコスト増加の主要因である電池のコスト低減にむけては、電動車のユースケース毎に使い方や必要航続距離の整理を通じて、電池の標準化やリユースなども含めた議論が必要。
 - ◇ 【自動車メーカー】社会の電動化のニーズとお客様（事業者）のニーズが紐づいていないと感じた。
 - ◇ 【ユーザー企業】電動車の経済合理性を担保するためには、輸送だけでなく周辺産業（電力×物流、VPP、双方向充電できる V2G）も踏まえた価値創造の議論が必要。
 - ◇ 【ユーザー企業】充電インフラの拡充に向けては、充電設備の設置による電力契約料の緩和などのインセンティブの制度設計の議論が必要。
- ▶ 長期的ロードマップと整合した現実的な政策の議論
 - ◇ 【自動車メーカー】電動車の普及には、OEM・ユーザー双方がリスクを負う必要があるため、適切な補助金・規制を踏まえ、本音の議論をしていきたい。

以上